

資料番号- 整理番号	名 称	内 容	備 考
52130 - (1/8)	International Jubilee Meeting on the Occasion of the 40th Anniversary of the Netherlands Ship Model Basin August 29,30,31 and September 1,	本大会のプログラム 元良教授の講演は、 Thursday, August 31, 1972 14.25-14.50 "Maneuverability" by Prof. Dr. S. Matora, University of Tokyo, Departmnt of Naval Atrchitecture, Tokyo, Japan と記載されている。	冊子 2部
52130 - (2/8)	(封筒おもての 記載事項を名 称とする。以下 同じ) NSMB Symposium (Aug. 1972) 原稿	元良教授の英文講演原稿および図表類。ネガも含まれている。 論文タイトル:"MANEUVERABILITY State of the art" 大要: 1940年代、船の操縦性は旋回性能にのみ関心があり、 コースキーピング性能はあまり研究されていなかった。 しかし、モデルテストや無線操船の発達により操縦性 に関する研究開発は飛躍的に発展した。アナログ計算機 に基づくトレーニングを目的としたシミュレーションやデ ジタル計算機による操縦性能の予測などである。本論 では、1960年以來のこの分野における進捗について述 べる。すなわち、 1 運動方程式 2 微係数(周波数、加速度、速度、舵角やモーメント、 および高次の微係数) 3 フルスケールテスト(Z試験、逆スパイラル試験など) 4 モデルテスト テクニック 5 シップ モデル の相関関係 6 船体運動解析と定義(歴史、野本のK,T指数、 非線形解析など) 7 シミュレーション 8 オートマチック コントロールおよびルーティング (大洋、閉海域) 9 狭海域における操縦性(浅水域、水路、スクアット) 10 停止性能	A4封筒入り
52130 - (3/8)	コピー原図	配布コピー用の原紙。 『20部 白焼 表紙 背表紙付 A4 103 x 20』の指 示メモが添付されている。 図表も含まれ、完成論文として一番まとまっている。内 容は上記。	青色A4封 筒入り
52130 - (4/8)	清書済原稿	タイプアップされた原稿。図表無し。	A4封筒入り
52130 - (5/8)	和文原稿	推敲と思われる手書き修正入り。	A4封筒入り

資料番号- 整理番号	名 称	内 容	備 考
52130 - (6/8)	和文原稿(写 し)	A4封筒おもて右上に「藤野先生」と記載されている。	A4封筒入り
52130 - (7/8)	(空白)	Z-試験や旋回試験の軌跡、計算値との比較、実験装置 図など、論文原稿の原図	A4封筒入り
52130 - (8/8)	(空白)	Z-試験や旋回試験の軌跡、計算値との比較、実験装置 図など、論文原稿の原図(上記と同一内容だが紙サイ ズが大きい)	青色A4封 筒入り